

平均正答率 (%)					国語	重点課題	算数	重点課題
	国語A 主として 知識	国語B 主として 活用	算数A 主として 知識	算数B 主として 活用	<ul style="list-style-type: none"> ○「言語事項」 ・文脈の意味を考えながら、同音異義や同順異議の漢字を使い分けすることができる。 ○「書くこと・読むこと」 ・目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くことができる。 ○「書くこと・読むこと」 ・意見文を書くために、二つの意見文を比べて読み、文章全体の組み立ての違いをとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「数量関係」 ・学年ごとの身長を表した表から身長の伸びを求め、その伸びを棒グラフに表すことができる。 ○「数と計算」 ・小数の計算における乗数と積の大きさ、除法と商の大きさの関係について理解している。 ○「量と測定」 ・面積についての感覚を身につけている。 		
学 校	57. 6	39. 9	68. 4	43. 7				
全 国	65. 4	50. 5	72. 2	51. 6				
広島県	67. 8	53. 3	74. 3	53. 6				
尾道市	67. 7	51. 5	75. 4	53. 9				

国語	改善計画	算数	改善計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○国語辞典や漢字辞典を積極的に活用し、意味の違いや用法を正しく理解した上での確に使うように指導する。 ○目的に応じて資料から情報を正しく取り出し、自分の立場や主張を明確にした上で、その根拠となる数字や事例を正しく引用して書く言語活動を取り入れる。 ○意見文の組み立てを理解し、事実や事例と感想や意見を区別し、それらの関係をとらえて書く指導を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ○生活に根ざした学習活動を通して、表、折れ線グラフ、棒グラフなど複数の資料を関連づけて考える力をつける。又、グラフの一目盛りの大きさに着目させる。 ○乗数・被乗数と積の関係や除法・被除法と商の関係について、積や商が元の数より大きくなったり、小さくなったりすることを見通しを持たせながら練習問題を行う。又、簡単な数字に置き換えて考える力もつけていく。 ○身の回りの物の面積を予想して測定したり、示された面積の図形を書いたりして実感する。

生活・学習の意識の調査

<p>改善したい点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家の人と学校での出来事について話をしていない。 ○読書があまり好きではない。 ○難しいことや失敗を恐れ、将来の夢や目標を持っていない児童が多い。 	<p>今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通信やHP等で学校からの情報を発信し、家庭での話題提供をしていく。 ○良い本との出会いの環境を整え、朝の読書タイムに読み聞かせをするなどの充実を図る。 ○肯定的評価や支援を行い、しんどさが出し合える学級集団にする。又、より身近な人達の前向きな生き方に学ぶキャリア教育を進めていく。
--	--